



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2015 年 2 月 24 日 (現地時間) に、英国および各国で同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 2 月 25 日

**CSR、デュアルモード BlueCore®プラットフォームを拡充し、
Bluetooth®モジュールおよび IoT 組み込みシステム向けに即時利用可能な SoC を投入**

～きわめて多機能な Bluetooth 4.1 対応 CSRB5348 が実現する、部品点数・コストの大幅な削減と多彩な IoT
アプリケーション開発期間の短縮～

CSR plc (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、デュアルモード・システム・オン・チップ (SoC) BlueCore® [CSRB5348](#) をリリースすると発表しました。Bluetooth® Smart に準拠した多機能な新プラットフォームは、さまざまな次世代組み込みシステムおよびモジュールに理想的で、高性能、多用途かつコスト性に優れたソリューションを提供します。柔軟な設定が可能なこの SoC は、IoT (Internet of Things) の分野で今後続々と採用が予測される、Bluetooth と Bluetooth Smart Ready 双方の機能を必要とする多様な最新アプリケーションに理想的です。

人気の高い BlueCore® [CSRB534x シリーズ](#) に属するこの工業用温度グレード SoC には、組み込み型 Bluetooth v4.1 対応無線部、80MHz RISC MCU、40MHz DSP、USB 充電器、多様な I/O が含まれます。CSRB5348 は、多彩な機能を 1 チップに集積したことで、部品点数・コスト (BOM コスト) を大幅に削減するだけでなく、設計にとっても最高の柔軟性を提供し、産業用・家庭用オートメーション、EPOS、データロガー、バーコード・リーダー、測定機器等のほか、キーボードのように多くのインターフェイスを必要とするシステムにも適しており、幅広いアプリケーションに必要とされる諸機能を備えています。

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデント、アンソニー・マレー (Anthony Murray) は、次のように述べています。「めまぐるしく変化する市場ニーズに対応した新プラットフォームを投入することで、CSR は 15 年近く続いてきた Bluetooth 分野でのリーダーシップを継続します。CSRB5348 は、高度に統合したシングルチップで、Bluetooth クラシックと Low Energy 双方の特長を兼ね備えた、高い性能を発揮します。柔軟でコスト効率に優れ、市場投入までの期間を短縮できるソリューションを探しているモジュール・メーカーにとって理想的な製品です」

開発コスト削減を重視した高度な機能統合

マイクロコントローラ、充電器、多様なアナログ、電源管理を単一プラットフォームに統合した CSR B5348 は、BOM コストと実装スペースを大幅に削減します。デュアルモード Bluetooth 機能に対応したこのプラットフォームは、簡単に実装でき、コスト効率に極めて優れています。

超低消費電力によるバッテリー長寿命化

CSR B5348 は Bluetooth v4.1 に対応しており、従来型の機能と最新の低消費電力機能とが必要な機器（キーボードなど）に理想的であり、消費者にバッテリー寿命の長い機器を提供できるようになります。このプラットフォームには高効率ベースバンドを採用し、システムレベルの電力消費が最小になるよう設計されており、開発者側の負担を最小限に抑えつつ最適なパフォーマンスを実現します。

柔軟な設計をサポートする充実した周辺機器

開発者の設計の自由度を高めるため、新プラットフォームは柔軟な設定が可能な 22 のデジタル I/O と 22 のアナログ I/O を備えています。また、リチウム電池用 USB 充電器、ROM、RAM が組み込まれ、シリアル・フラッシュ・メモリ・インターフェイスによるメモリ拡張オプションも用意されています。これにより、たとえば医療用機器、スタイラス、産業オートメーション用ソリューションなど、どのような領域の機器を開発する場合であっても、メーカーは、多機能で、他と差別化された特徴ある製品を開発するための柔軟な設計環境を手に入れることができます。

市場投入までの期間を短縮するツール

開発者が新製品を迅速に市場投入できるよう、CSR では CSR B534x シリーズ専用のソフトウェア開発キット (SDK) を用意しました。新しい CSR B534x には、評価とシステム開発に要する時間を大幅に短縮する専用開発ボードが用意されています。CSR B534x SDK を利用することで、開発者は新プラットフォームでさまざまなワイヤレス機器を迅速に開発できます。SPP と GATT をサポートしており、HID over GATT を含む柔軟なデータ伝送が可能です。SDK には、MFi® V4.0 アドオン、Android、PC のサポートが含まれています。

CSR B5348 開発キットは 2015 年 3 月に一部の [CSR 販売代理店](#) を通じて販売される予定です。価格は 249 ドル～を予定しています。

###

*本プレスリリースは 2015 年 2 月 24 日 (現地時間) に、英国及び世界各国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は_

<http://www.csr.com/news/pr/2015/csr-expands-dual-mode-bluecore-platform-turnkey-soc-bluetooth-modules-and-embedded-iot> をご参照下さい

関連リソース

*CSR B5348 デバイスキットの高精細製品画像 (1,855KB JPG) はこちらからダウンロードしてください

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_b5348_dev_kit_pcb_0.jpg

*主要スペック一覧

Bluetooth バージョン	4.1
BT デュアルモード	Yes
パッケージサイズ (mm x mm)	VFBGA 105 6x6
パッケージ高 (mm)	1.0
パッケージ ピッチ (mm)	0.5
22 アナログ及び 22 デジタル I/O	Yes
外付け SQI フラッシュ対応	Yes
OTA/USB update	Yes
MFi® V4.0 対応 (iAP2)	Yes
動作温度	-40°C to +85°C

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテイメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRB5348を含むCSRのBluetooth® Smartプラットフォーム並びにそれらが各種電機製品等に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRB5348を含むCSRのBluetooth® Smartプラットフォーム並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述され

ていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com
